



国民の森林・国有林

中部森林管理局

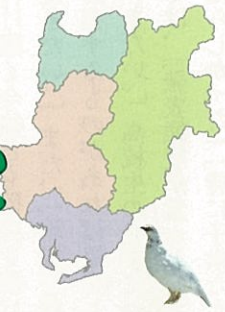
〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎(026)236-2531

http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/

広報

# 中部の森林



## 平成16年度中部森林技術交流発表会を開催



南信署 向井さん(左)、御柱の森づくり協議会 宮坂さん(右)



木曾地方事務所 山口さん



森林技術センター 熊崎さん



名古屋大学大学院 高根沢さん

林業技術の開発・普及、業務の改善、民有林との技術の交流等を目的に「平成16年度中部森林技術交流発表会」が、2月3、4日の両日、管理局大会議室において開催されました。

今回、新たな中部森林管理局が発足して初めての発表会となり、国有林の部から12課題が、民有林の部には、富山、長野、岐阜、愛知の各県から4課題が、また学生の部に6課題の全22課題が発表されました。

なお、審査委員には、植木達人信州大学教授、山田容三名古屋大学助教授のほか、木村宏NPO法人信越トレイルクラブ顧問などをお願いをし、国有林の部と民有林の部それぞれについて審査と助言をいただきました。

主な項目	○平成16年度中部森林技術交流発表会を開催	1 鈎
	○北信地域をフィールドにモデルプロジェクトの検討	3 鈎
	○治山・林道工事コンクールの表彰式を開催	4 鈎

# 全二十二課題を発表

第一日目、はじめに国有林の

部として、各署等の現場における研究の成果やNPO等と連携した日頃の取り組み等多岐に渡った内容の発表が行われました。

引き続き民有林の部の発表では、各県の森林・林業担当者から、野生キノコの栽培技術の開発や間伐材を利用した林道法面保護事例等四課題が発表され一日目を終了しました。

第二日目、特別発表として、名古屋、岐阜、信州の三大学と木曾山林高、上伊那農業高の二校の学生の発表が行われました。

発表終了後、植木教授から国有林の部の発表について、「国有林の存在を考える時、山造り、木材の利用、環境、地域社会への貢献との調和を図ることが新しい時代に大切なことである。」との講評がありました。

また、山田助教から民有林の発表については、「何れも甲乙付け難く今後とも研究を続けて頂きたい。」また、「現場で調査研究するものがあれば協力していきたい。」高校生の発表については、「発表態度が堂々としてすばらしかった」「特に子供たちの

理科離れが叫ばれる今日、疑問を持つことが大切である。」と講評と助言を頂きました。

この後、審査委員長の計画部長から入賞課題の発表が行われ、関局長から局長優秀賞及び努力賞が、また日本森林技術協会理事長賞、林野弘済会会長賞がそれぞれ授与され、本年度の交流発表会を終了しました。



受賞された発表者一同

受賞者と発表課題は次のとおりです。

## 国有林の部

### ◎局長賞 優秀賞

・「御柱の森」における取り組み

向井 明 (南信署)

宮坂 源吉 (御柱の森づくり協議会)

協賛会)

・高性能林業機械に対応した作業道の作設

熊崎 裕文 (技術センター)

### ◎局長賞 努力賞

・組織再編後における森林事務所

湯浅 正明 (飛騨署)

銅島 悟 (〃)

四ツ嶽 誠 (〃)

・木材チップ被覆によるヒノキ根の保護について

三村 晴彦 (木曾署)

櫻井 康夫 (〃)

・城山史跡の森における地域一体となった森林整備活動について

中熊 靖 (ふれあいセンター)

藤澤 翠 (信州大学)

・ブナ坂国有林における立山スギ巨木に関する取り組み

中屋 健次 (富山署)

藤村 桂 (〃)

・乗政ヒノキ人工林収穫試験地の調査結果について

長屋 和幸 (技術センター)

細田 和夫・家原 敏郎

(森林総合研究所)

・恵那山系における大規模崩壊地の復旧に向けて

高村 健介 (東濃署)

可兒 孝志 (〃)

・高山植物等保護 (グリーンパ

トロール) の取り組みについて

寺島 史郎 (中信署)

波多野 肇 (グリーンパトリール隊)

・ヒノキ天然更新の試験地について

鈴木 良和 (愛知事)

◎日本森林技術協会理事長賞

・ウダイカンバの密度管理について

横井 眞吾 (富山署)

佐々木雅則 (〃)

### ◎林野弘済会会長賞

・「関田トレイル」の整備と活用について

平野 友行 (北信署)

大西 宏志 (NPO法人信越トレイルクラブ)

## 民有林の部

### ◎局長賞 優秀賞

・木製法面保護工について

山口真保呂 (長野県木曾地方事務所)

### ◎局長賞 努力賞

・GISによる地形解析技術を利用した林地生産力の推定

関子光太郎 (富山県林業技術センター)

◎日本森林技術協会理事長賞

・ヒノキ人工林の衰退した下層

植生は間伐でよみがえるのか

横井 秀一 (岐阜県森林科学研究所)

### ◎林野弘済会会長賞

・新しい野生きのこの栽培技術の開発キサケツバタケ

門屋 健 (愛知県森林・林業技術センター)

## 学生の部

・森林管理計画のための機能区分の手法に関する研究

高根沢寛枝 (名古屋大学大学院)

・国有林野事業における「ふれあいの森」制度の現状と展望

青木 陽子・大浦 由美 (名古屋大学)

・ヒノキ人工林における漸伐作業方の体系化に関する基礎的研究

遠藤 寛子 (信州大学)

・岐阜市金華山の森林形成史

今井 裕一・松村 学 (岐阜大学)

加藤 正吾・小見山 章 (岐阜大学)

・木材腐朽について

山田 修平・市川 雄太 (岐阜大学)

若田 和幸 (木曾山林高校)

・上農高校 緑地工学科の活動

武田 英太・竹村 大志 (上伊那農業高校)

第11号

# 北信地域をフィールドにモデルプロジェクトの検討

## 「北信濃くらしと健康を支える森林づくり」

「計画課」国民共通の財産である国有林野を地域やNPOなどの皆さんとともに整備・利用していく中で、相互連携を強めていくことを目的に、モデルプロジェクト「北信濃くらしと健康を支える森林づくり」の基本構想を作成する初の検討会を一月十四日、中部森林管理局において開催しました。



モデルプロジェクト検討委員会の様子

この検討会は、古くから人々と森林の間で育まれてきた「くらし」や「文化」に着目し、豊かな自然環境の中で、地域資源

である森林の活用や地元との連携により、都市域からの来訪者を主体に、「遊ぶ」、「食べる」、「学ぶ」、「滞在する」等の活動や、近年注目を浴びている森林セラピーによる健康増進活動等の基盤づくりに取り組むとともに、国有林のフィールドを積極的に活用してもらう具体的な利用方法等を検討するものです。

検討会には、委員のほか北信地方事務所をはじめ、飯山市、野沢温泉村、木島平村の担当者にも出席いただき、地域の問題点や現在の取組状況などのご意見をいただきました。

### 「北信濃くらしと健康を支える森林づくり」検討委員会名簿

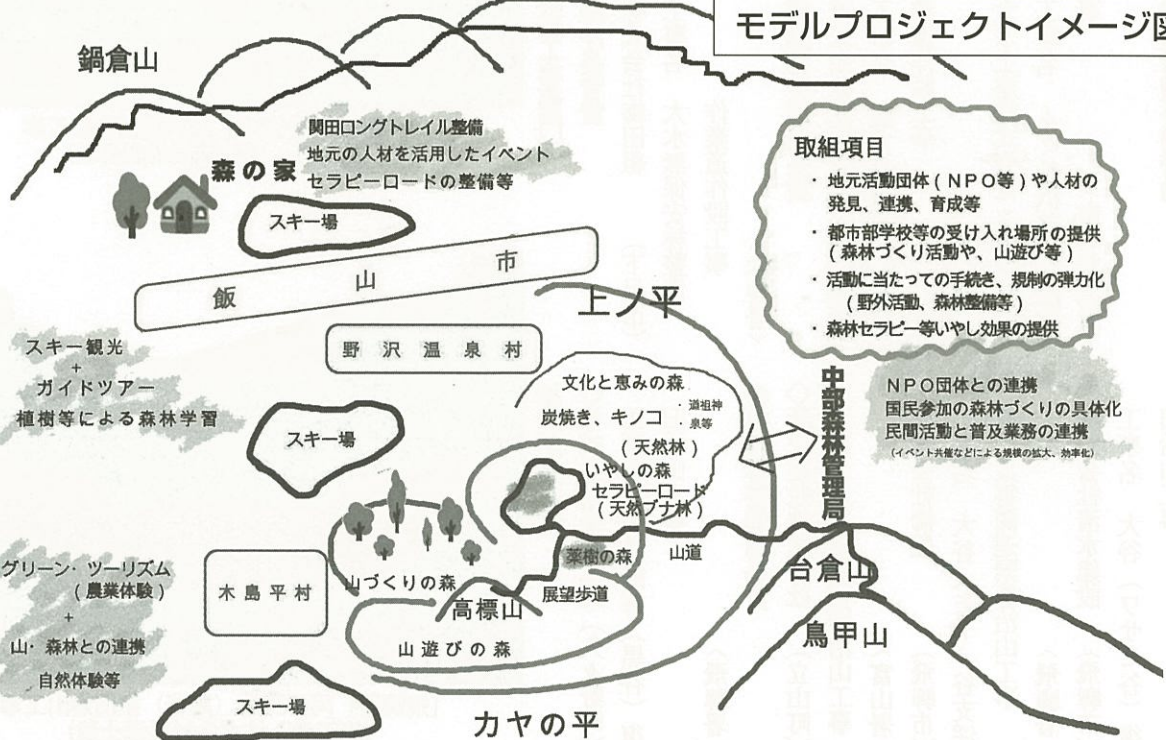
(五十音順、敬称略)

- 大熊 政彦 (戸狩小学校長)
- 加藤 正人 (信州大学助教授)
- 木村 宏 (NPO法人「信越トレイルクラブ」顧問)
- 小林 壽内 (アドバイザー)
- 小松崎昌美 (NPO法人「やまぼうし自然学校」事務局長)
- 小山 孝治 (林業士)
- 茂田 和彦 (社)国土緑化推進機構 常務理事)
- 富井 武志 (ボランティア団体「おせっかい」代表)
- 星 研一 (医師)

会議では、北信濃の自然を代表する「カヤの高原」「上ノ高原」「なべくら高原」などの国有林を対象地域として、森林を目的別に、健康の森(森林セラピーの森、薬種の森)、森林整備の森(体験の森、保存の森、稲作と水源の森)、ふれあいの森(くらしと文化の森、遊びの森)などにゾーニングし、地元団体やNPO団体等の参加協力を得ながら活動を進めていく基本的な考え方を事務局より提案しました。委員からは、北信濃の自然、文化、人材、施設等の資源現況、地域の森林(国有林)に対する要望など把握した上で、取組方向を検討していく等の意見などが出されました。次会は、三月中旬を目途に開催する予定としていきます。

### 関田トレイル

### モデルプロジェクトイメージ図





### 林野庁長官賞：林道工事部門



〔木曾署〕 大水無保安林整備作業道作設工事  
(施工者：株式会社梅田組)



〔富山署〕 相ノ又（資材運搬路新設外1）  
(施工者：富建設株式会社)

◇西濃建設株式会社

〔林道工事部門〕  
林野庁長官賞  
工事名 檜原谷復旧治山工事  
（揖斐川町市）

富建設株式会社  
（富山市）  
工事名 相ノ又（資材運搬路  
新設外1）復旧治山工事  
（富山署）

◇田口土木株式会社（中津川市）  
工事名 東股（タツガヒゲ谷  
復旧治山工事  
（東濃署）

中部森林管理局長賞

（富山署）

◇株式会社佐々木工務店  
（中津川市）

工事名 中津川（岩ヶ洞）復  
旧治山工事  
（東濃署）

◇株式会社中島工務店  
（中津川市）

◇株式会社遠山建設  
（設楽町）  
工事名 段戸（樺尾）災害関  
連緊急治山工事  
（愛知所）

工事名 西股（木曾越治山資材  
運搬路新設）復旧治山工事  
（東濃署）

◇株式会社梅田組  
（下呂市）  
工事名 乗政治山資材運搬路  
新設工事  
（岐阜署）

### 会議行事等予定

◎署長等会議

2月22～23日

◎法人の森調印式

2月25日

◎モニター会議  
（瀬戸国有林内）

◎モニタールーム

2月28日

◎中日造林賞贈呈式

3月7日

中部森林管理局人事  
（名古屋市内）

一月三十一日付

▽退職（伊那谷総治）

吉澤 克久

### 伊那谷バイオマスシンポジウム 最新ペレットストーブが展示

〔南信署〕二月十一日、伊那谷

バイオマス利用研究会と上伊那  
森林組合が、上伊那郡高遠町に  
ある森林組合のペレット製造工  
場で「伊那谷バイオマスシンポ  
ジウム」を開催し、県の内外か  
ら約一三〇名が参加して、ペレ  
ットストーブの活用を語る講演  
とパネルディスカッションに耳  
を傾け、意見交換などを行いました。

予想を上回る来場者があり、  
バイオマス利用について一般の  
人が高い関心を持っていること  
が改めて感じられました。

講演では、自社のモデルハウ

スでペレットストーブの効果を  
研究している積水ハウス総合住  
宅研究所ハートフル生活研究所  
の田中孝雄氏より、「ペレットス  
トーブは、暖房効果だけでなく  
炎が見えることによる癒しの効  
果、炭素の循環など環境効果、  
更に利便性など石油ストーブに  
比較してバランスが優れている  
こと」などの説明がありました。

この後のパネルディスカッシ  
ョンでは、ペレットストーブを  
学校の全教室で使用している西



パネラーによる意見交換の様子

春近南小学校の教頭先生、NP  
Oの代表など六人のパネラーか  
ら「環境にかかる費用など総合  
的なコストまで考えればペレッ  
トは高いとは言えない」「生活ス  
タイルとして売り出しを」など  
の意見が出されました。

参加者からも、「石油ストーブ  
はなんとと言っても価格が安い、  
ペレットストーブももっと安く、  
持ち運びができるよう軽くなら  
ないか。」等の意見が出されまし  
た。

また、会場内には、上伊那地  
域で開発されているペレットス  
トーブ二種の他、外国製や電気  
を使用しないものなど十一種の  
ペレットストーブが持ち寄られ、  
各メーカーや代理店の担当者も  
説明に追われていました。

**国有林間伐推進コンクールで  
最優秀賞を受賞**

「北信署」平成十六年度国有林  
間伐推進コンクール（林野庁主  
催）において、北信署管内の北  
信木材生産センター協同組合か  
ら応募のあった「列状間伐と高  
性能林業機械の組み合わせによ  
る間伐コストの縮減」が最優秀  
賞に選ばれ、一月十七日に林野  
庁において授賞式と事例発表が  
行われました。

当日は、辻国有林野部長から  
北信木材生産センター協同組合  
の町田専務理事に賞状と記念品  
が授与され、引き続き、林野庁  
関係者、各局の販売課長等が見  
守る中、三尾販売課長による受



辻国有林部長から賞状を受取る町田専務

賞の背景説明、北信木材生産セ  
ンターの小林業務課長が、協同  
組合の概要、作業システムの内  
容、生産性等の推移、現地作業  
の状況等をパワーポイントを用  
いて発表しました。

今回の特徴は、グラップルに  
よる簡易な作業路の開設と高性  
能林業機械を活用した作業シス  
テムと高性能林業機械が効果的  
に使用できる路網配備です。

この作業システムを導入し、  
作業の効率性と安全性の確保に  
努めた結果、従来の作業システ  
ムに比べて、作業コストの大幅  
な低減（二二、四八八円/m<sup>2</sup>  
→八、九九二円/m<sup>2</sup>）と生産性  
の向上（四m<sup>2</sup>/人日→五m<sup>2</sup>/人  
日）が図られたことが評価され  
て受賞となりました。

最後に、受賞者を代表して町  
田専務理事が挨拶をされて国有  
林間伐推進コンクール表彰式・  
発表会が終了しました。

**「コンクール対象林分概況」**

- ・ 事業箇所：黒姫山国有林
- ・ 一〇一三へ林小班外
- ・ 樹種：カラマツ・スギ
- ・ 林齢：45～49年生
- ・ 面積：36・8畝
- ・ 間伐率：33%
- ・ 路網密度：62 m/畝

**ご利用下さい！中部局の国設スキー場を**

**管内の国設スキー場一覧**

県別	種別	スキー場名	場 所	お問合せ先（インフォメーション）	
				電話番号	ホームページURL
長	1	戸狩温泉	飯山市戸狩温泉	0269-65-2539	http://www.togarijosen.co.jp/
	2	きじま平	高木郡平村大字上木島	0269-82-2800	http://www.kijimadairakanko.jp/
	3	木島平牧の入	中野市田上牧の入	0269-82-3151	http://www.makinoiri.co.jp
	4	野沢温泉	上高井郡野沢温泉村	0269-85-3155	http://www.vill.nozawaonsen.nagano.jp/
	5	飯綱高原	長野市大字富田	026-239-2505	http://www.kg.to./iizuna-ski
	6	いづなりリゾート	上水内郡牟礼村大字川上	026-253-3911	http://www.iizuna-resort.com
	7	戸 隠	長野市戸隠	026-254-2106	http://www.togakusi.com/skimenou/
	8	黒姫スノーパーク	上水内郡信濃町黒姫高原	026-255-3176	http://www.kurohime-kogen.co.jp/
	10	白馬岩岳	北安曇郡白馬村北城	0261-72-2500	http://www.hakuba.jp/iwatake
	11	乗鞍高原温泉	南安曇郡安曇村	0263-93-2333	http://www.norikura.co.jp
	12	信州野麦峠	南安曇郡奈川村	0263-79-2246	http://www.vill-nagawa.jp
	13	湯 の 丸	東御市湯の丸	0268-64-0400	http://www.valley.ne.jp/yunomaru
	14	菅平国設	小県郡真田町菅平高原	0268-74-2003	http://www.sugadaira.com
	野	15	菅平高原バインビーク	小県郡真田町菅平高原	0268-74-2138
16		ブランシュたかやま	小県郡長門町鷹山	0268-69-2232	http://www.blanche-ski.com
17		エコーバレー	小県郡長門町姫木平	0268-60-2001	http://www.echovalley.co.jp/
18		富士見高原	諏訪郡富士見町境広原	0266-66-2932	http://www.fujimikogen-resort.jp/
19		ピラタス蓼科	茅野市蓼科高原	0266-67-2009	http://www.pilatus.co.jp/
20		やぶはら高原	木曾郡木祖村大字菅	0264-36-3322	http://kankou.kisomura.com
21		開田高原マイア	木曾郡開田村西野	0264-44-1111	http://www.mia-ski.com/
岐	22	御岳ロープウェイ	木曾郡三岳村	0264-46-2525	http://www.ontakerope.jp
	23	おんたけ	木曾郡王滝村	0264-48-2431	http://www.ontake.co.jp
	24	ダイナランド	郡上市高鷲町大字西洞	0575-72-6636	http://www.dynaland.co.jp/
	25	チャオ御岳スノーリゾート	高山市高根町日和田	0577-59-3620	http://www.ciao.co.jp
	26	緑風リゾートひだ流葉	高山市高根町日和田	0578-2-0916	http://www.ryokufu-resort.com
	阜	27	すずらん高原	高山市朝日町西洞	0577-57-2116
28		濁河温泉	下呂市小坂町落合	0576-62-3373	http://www.hida-osaka.com/

〔国有林野管理課〕 現在、中部森林管理局  
管内には、長野県年、岐阜県に28箇所の国  
設スキー場があります。年末・年始の雪不  
足も、1月に入ると大雪が続き、ゲレンデ  
コンディションも良好となっています。

毎年、スキー場への入込客が減少する中、  
各スキー場とも魅力あるサービス等でお待ち  
しておりますので、是非、友人や家族で、  
国設スキー場のご利用をお願いします。



戸狩温泉スキー場（飯山市）



チャオ御岳スノーリゾート（高山市）